

職業実践専門課程の基本情報について

学 校 名	設置認可年月日	校 長 名	所 在 地		
北海道芸術デザイン専門学校	昭和51年4月1日	杉澤 投吉	〒001-0027 札幌市北区北27条西8丁目 (電話) 011-756-0777		
設 置 者 名	設立認可年月日	代 表 者 名	所 在 地		
学校法人 美専学園	昭和62年12月4日	高橋 英雄	〒001-0027 札幌市北区北27条西8丁目 (電話) 011-756-0777		
目 的	学科の目的 産業デザイン学科(グラフィックデザイン専攻)の各分野に関するプロ養成に必要な、「基礎から実践」までを教育することを目的とし、次の事項に重点的に取り組む。 ・各分野のプロになるための技術や知識を学ばせ就職させる。 ・いかに学生・保護者・就職先企業等のニーズに応えるか、各分野における諸課題を主体的・創造的に研修し、実務的な職業教育を施す。				
課 程 名	学 科 名	修業年限 (昼、夜別)	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	専門士の付与	高度専門士の付与
文化教養分野 専門課程	産業デザイン学科 (グラフィックデザイン専攻)	2年(昼)	2,400単位時間 (又は単位)	平成7年1月23日 文部省告示第7号	——
教育課程	講義	演習	実験	実習	実技
	90単位時間 (又は単位)	2310単位時間 (又は単位)	0単位時間 (又は単位)	0単位時間 (又は単位)	0単位時間 (又は単位)
生徒総定員	生徒実員	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
360人の内数	86人	2人	22人	24人	
学期制度	■前期：4月1日～9月28日 ■後期：9月29日～3月31日	成績評価	■成績表 (有・無) ■成績評価の基準・方法について 授業担当教員が課題の成果・提出状況・出席状況等を総合的に評価する。		
長期休み	■学年始め：4月9日 ■夏 季：7月28日～8月17日 ■冬 季：12月17日～1月12日 ■前 期 末：9月10日～9月28日 ■学 年 末：3月4日～4月7日	卒業・進級条件	教育指導計画にしたがって、授業科目を履修し、その成果が満足できると認められるときは、各学年の修了・進級または卒業を認定する。		
生徒指導	■クラス担任制 (有・無) ■長期欠席者への指導等の対応 面談及び保護者との連携	課外活動	■課外活動の種類 北海道私立専修学校各種学校連合会札幌支部体育事業の参加、地域清掃等 ■サークル活動 (有・無)		
主な就職先	■主な就職先、業界 広告・印刷・出版・Web 他 ■就職率 96.7%	主な資格・検定	Illustrator クリエイター能力認定試験、Photoshop クリエイター能力認定試験、色彩士検定、ビジ初能力検定、DTP 検定		

<p>中途退学の現状</p>	<p>■中途退学者 9名 ■中退率 11%</p> <p>平成25年4月1日在学者 81名（平成25年4月入学者を含む） 平成26年3月31日在学者 72名（平成26年3月卒業生を含む）</p> <p>■中途退学の主な理由 健康及び経済的理由による進路変更</p> <p>■中退防止のための取組 補習の実施と保護者への連絡・連携</p>
<p>ホームページ</p>	<p>URL: http://www.bisen-g.ac.jp/</p>

1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

本校の教育目標「各専攻における専門教育および職業教育の確立」を達成するために、指導内容や各種特別活動等を総合的に組織する一連のPDCAサイクルにおいて、教育課程編成委員会でその教育効果を検証し、企業等委員からの意見・助言を取り入れ、開設科目編成や授業内容の改善等を図っていくものとする。

- ・ 学生の就業先の業界動向に関する最新情報を収集し、現場の実務で求められる専門スキルに対応した授業科目の開設や授業課題の設定、ICT関連機材等の学習環境整備、教材開発等に活用する。
- ・ 企業等委員から経営者としての視点による助言を受け、即戦力となる人材育成のために、学生がインターンシップや職場体験、現場見学等を経験できる機会を創出する等、社会人としての基礎力および実務スキル向上につながる授業内容や指導方法の改善に取り組む。

(教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成26年9月30日現在

名前	所属
佐野 公康	株式会社デービス 代表取締役
西村 昌実	北海道イラストレーターズクラブα 会長
井上 俊彦	一般社団法人 札幌・北海道コンテンツ戦略機構 理事長
内藤 卓也	株式会社ジュリアジャパン 取締役社長
野村 光雄	株式会社デザインミック 代表取締役
薄木 健友	株式会社フルーロン花佳 代表取締役
鈴木 理	株式会社鈴木理アトリエ一級建築士事務所 代表取締役
中山 眞琴	株式会社ナカヤマ・アーキテクト 代表取締役
杉澤 投吉	北海道芸術デザイン専門学校 学校長
堀口 徳久	北海道芸術デザイン専門学校 副学校長
高橋 美絵	北海道芸術デザイン専門学校 教務部長
飯塚 哉子	北海道芸術デザイン専門学校 学務部長・建築デザイン学科長
山内 芳美	北海道芸術デザイン専門学校 産業デザイン学科長
田中 政史	北海道芸術デザイン専門学校 マルチメディアデザイン学科長
松原 祐子	北海道芸術デザイン専門学校 環境デザイン学科長

(開催日時)

第1回 平成26年8月27日 16:00～17:30

第2回 平成27年1月21日 16:00～17:30(予定)

2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

本校の教育目標「各専攻における専門教育および職業教育の確立」達成のため、各専攻関連分野の企業および業界団体と連携し、実践的な職業教育の実施に必要なカリキュラムの作成、講義および研修の実施、各種教材の作成等において、緊密な協力体制を構築・維持するものとする。

- ・ 職業教育協定書に基づき、各専攻関連分野の企業および業界団体から、各専門分野の指導講師として人材の派遣を受ける。
- ・ 担当教科目の指導計画について事前に協議し、各教科目のねらいに沿って授業内容や実施方法、評価の観点等についてまとめた指導計画書(シラバス)を作成し、指導講師と教務部で情報を共有する。
- ・ 学修成果の評価指標・手法についても予め協議し、演習終了後には指導講師による学生の学修成果の評価を踏まえ、担当教員が成績評価・単位認定を行う。

科目名	科目概要	連携企業等
基礎技術演習Ⅱ	小冊子の企画から実制作を通して、Adobe Illustrator・Photoshopを使用したデジタル入稿から校正・製本までのプロセスの理解と、必要な情報を視覚的に分かりやすくレイアウトする紙面構成のトレーニングを目的として、実務を手掛ける講師の指導の下、演習を行う。担当教員が企業と課題に関する事前打ち合わせを行い、演習における指導方法・評価方法・教材等に必要な情報提供を受け、準備を進める。また、演習修了後には、学生の学習成果の評価を踏まえ、さらなる改善、工夫の助言を得るとともに、担当教員により5段階評価を行う。実務とワークフローの理解のために企業訪問・工場見学を行う。	白馬堂印刷株式会社
プレゼンテーション、コンペ課題制作	デザイン業界・印刷業界における印刷原稿の制作方法や、テーマに対してコンセプトを設定し効果的なビジュアル表現方法やレイアウトを目的に学び、デザイン表現に対する意識を深める。作業プロセスと入稿データを制作する際に注意すべき点をふまえて、印刷に適したデータ制作を行えるスキルを身につける。担当教員が企業関係者と事前に打ち合わせを行い、演習内容、学生の学修成果の達成度評価指標などについて定める。演習修了後には学修成果の評価を踏まえ、担当教員により5段階評価を行う。制作された作品について企業担当者による審査・選定の後、総括を行い、評価の高い作品はポスターとして印刷され、全作品が作品集に掲載される。	一般社団法人 サッポログラフィックス
プレゼンテーション、コンペ課題制作	関連業界における印刷原稿の基本的な制作方法やお客様が求める年賀状のデザインとは何かを目的に学び、クライアント意識を深める。演習における課題設定などを行うにあたり、実践的な授業内容を行うため、企業関係者からの作業指示書を基に、印刷に適した入稿データの制作時の注意点をふまえて制作を行う。担当教員が企業関係者と事前に打ち合わせを行い、演習内容、学生の学修成果の達成度評価指標などについて定め、演習修了後には学修成果の評価を踏まえ、担当教員により5段階評価を行う。	株式会社 成瀬商会
デザイン演習	企業担当者からのオリエンテーションを踏まえ、企業における広報活動の目的・機能について学びながら、ターゲットに訴求できる販売促進ポスター（ノベルティ含む）の企画・制作を行うため、実務を手掛ける講師の指導の下、演習を行う。演習修了後には、学生の学習成果の評価を踏まえ、さらなる改善、工夫の助言を得るとともに、担当教員により5段階評価を行う。完成した課題を企業へプレゼンテーションして現場の評価を受けるとともに、同企業店舗内にて共同授業成果展示会を行う。	札幌アートディレクターズクラブ 派遣講師（クライアント企業：株式会社サクマ）

プレゼンテーション	就職活動における実践的な授業として、身だしなみ・履歴書・エントリーシートなどの応募書類を準備する際の注意事項など、実際に就職活動を行う上での注意事項など企業関係者から指導方法などの助言協力を得て教材作成や指導にあたる。担当教員と企業関係者とで事前に打ち合わせを行い、演習内容、学生の学修成果の達成度評価指標などについて定め、専門家の指導を受けて意欲的な就職活動に反映させる。演習における習得度・作成した書類の評価項目をあらかじめ設定し、担当教員により5段階評価を行う。	有限会社 アルテワークス スタジオ オ アットーレ札幌
-----------	--	--------------------------------

3. 教員の研修等

(教員の研修等の基本方針)

本校教職員研修規程に基づき、研修は、教職員が現在就いている職に係わる職務の遂行に必要な知識、技能、資質等の向上を図ることを目的とし、そのため教職員の資質に応じた研修計画を策定し、校内外で催される必要な研修を受ける機会を学園として認め、経費を負担することとする。

- ・ 教職員は、業務に支障のない限り、理事長の承認を受け校外の産業現場等、勤務場所を離れて研修を行うことができるものとする。
- ・ 各専攻関連分野の業界団体主催による各種技能研修や、ICT機器・アプリケーションソフト関連セミナー等の受講機会を確保し、最新の実務知識・技術・技能の計画的修得および向上に努める。
- ・ 授業および学生に対する指導力向上のため、各種職能団体が運営する指導員研修への参加や、所定の年度に大学等で実施される教員免許更新講習等を受講する機会を確保する。

4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成26年9月30日現在

名 前	所 属
河村 和義	株式会社アトリエK一級建築士事務所 代表取締役
櫻井 俊二	北海道芸術デザイン専門学校校友会会長
安田 昭夫	北海道芸術デザイン専門学校元学校長・北海道白札幌石高等学校元校長
山森 鉄夫	司法書士 山森鉄夫司法書士事務所 所長
杉澤 投吉	北海道芸術デザイン専門学校 学校長
西尾 正道	北海道医薬専門学校 学校長
館山 昭	北海道医薬専門学校 副学校長
堀口 徳久	北海道芸術デザイン専門学校 副学校長

(学校関係者評価結果の公表方法)

URL: <http://www.bisen-g.ac.jp/>

5. 情報提供

(情報提供の方法)

- ホームページ <http://www.bisen-g.ac.jp/>
- SNS (Facebook) <https://www.facebook.com/bisengakuen>
- 北海道私立専修学校各種学校連合会の発行する「北海道専修学校概要」等の進学情報への掲載

授業科目等の概要

文化教養分野専門課程 産業デザイン学科（グラフィックデザイン専攻）平成26年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			一般教養	社会人として求められる知識・常識を身につけ、就職活動に備えて自己分析を突き詰め、履歴書やエントリーシート、面接対策、自己PR、プレゼンテーション、文章表現を強化する。ビジネス能力検定対応。	1後	30	1	○	△	
○			英会話	交換留学生とも気軽にコミュニケーションがとれるように初歩的な英語の運用能力を養うと同時に、デザインに関連した英文・英単語の使用例を通して、作品制作や卒業後の仕事においても役立つようにリーディング力・語彙力を向上させる。	1前	30	1	○		
○			デザイン概論	校外学習での展覧会見学を通して、ビジュアルやコピーライティングを含めた広告・デザイン関連の知識を身につけ、実制作に役立たせる。	1前	30	1	○	△	
○			色彩学	美術の歴史から学び取れるデザインの造形要素とともに、デザインの構成要素である点線面の特性と色彩表現における効果的な配色の知識を学び、構成力と表現力をトレーニングする。各種印刷物やパッケージに用いられる紙についてその素材特性や加工方法を通年で学習する。	1前	30	1	△	○	
○			美術史		1前	30	1		○	
○			デッサン		1後	30	1		○	
○			基礎技術演習Ⅰ	様々な画材や素材の特性を活かし、媒体特性やコンセプトを踏まえ効果的なビジュアル表現が出来る力を養う。また、平面構成、配置レイアウトの基礎トレーニングを重ね、デザインワークに必要な基礎技術を習得し柔軟な発想力を養うとともに、カラー印刷の原理や各種印刷方法を学習する。パソコンのOSやAdobe Illustrator、Photoshop等主要アプリケーションソフトの操作方法、データ管理等の情報リテラシーを学習し、複数のソフトを連動させながら基礎的な紙面レイアウトができるスキルを身につける。	1通	240	8		○	
○			基礎技術演習Ⅱ	対象をよく観察しフォルムを的確に捉えて自然な空間表現ができる力を養う。また、コンセプトの概念や、タイポグラフィの基礎知識や表現方法を学ぶとともに、情報を整理しレイアウトする紙面構成のトレーニングを行う。課題制作を通して印刷会社へデジタル入稿し、校正・製本までのプ	1通	240	8		○	

				ロセスの理解と、就職後の実務に耐えうる力をつける。						
○			専門技術演習 I	平面構成、配置レイアウトのトレーニングを重ね、言葉の持つ表現力についてコピーライティングの意識を高めながら、クリエイターとして求められる柔軟な発想力を養う。デジタル表現の幅を広げるとともに、進級制作およびアプリケーションソフトの検定受験に備えてスキルアップを図る。	1 前	120	4		○	
○			専門技術演習 II	デジタルカメラの操作と撮影の基本的なテクニック、グラフィックデザインにおける写真表現の特性について学習し、ポスターや新聞広告等の媒体を設定し、実践的な課題制作を通じてコンセプトメイキングからデータ制作を中心としたフィニッシュワークまで行える応用力を養う。Webデザインについての基礎知識および Dreamweaver を学習し、Webデザインならではの仕組みを理解し、サイトとして求められるデザインの企画・制作を実践する。	1 後	120	4		○	
○			DTP演習	Adobe Photoshop と Illustrator の応用技術を習得しデジタルにおける表現の幅を広げるとともに、進級制作およびアプリケーションソフトの検定受験に備えてスキルアップを図る。	1 後	30	1		○	
○			前期課題制作	夏期休業中に複数の課題制作を行い、必要な資料を収集する能力や、多様な視点から発想を広げて様々なアイデアを出すトレーニングを行う。	1 前	30	1		○	
○			後期課題制作	冬期休業中に、進級制作に備えて必要な資料の収集を行うと同時に、与えられたテーマに対してコンセプトメイキングやラフデザインの制作、ビジュアルの制作等を行う。	1 後	30	1		○	
○			コンペ課題制作	各担当講師の指導の下、応募するコンペを設定して積極的に出品することにより、オリジナルな表現を追及すると同時に、就職活動用のポートフォリオの充実を図る。	1 後	30	1		○	
○			進級制作	1年間の総まとめとして、専攻色を活かしたポスター・新聞広告・タイポグラフィ・パンフレット等を企画・制作する。テーマに基づき定められた期日までに各自が集中して課題制作を行い、その成果を問う。	1 後	180	6		○	
○			色彩応用	視覚的な情報を分かりやすく表現するための考察と、自己を取りまく環境に対しての問題意識を高め、配色の知識を応用しながらピクトグラム、マップ、サインデザインなどの課題制作を通じて、グラフィックデザインがコミュニケーションに果たす役割について理解を深める。	2 前	30	1		○	
○			各種技術論		2 前	60	2		○	
○			各種概論	企業と消費者をコミュニケーションするデザインの重要性や、著作権商標などの各種知的財産に関する基礎知識について学習する。また、ポスター、	2 前	30	1		○	

○		デザイン演習	フライヤー、DM など様々な紙媒体を想定したセールスプロモーションツールの企画・制作を通して、ディレクションできる力と表現スキルを養い、アプリケーションソフトを用いたトータルな制作を行う。企業との連携を図り、実務的な広告媒体制作とプレゼンテーションを行うことで、グラフィックが社会における役割を考えた表現方法と実制作を行う力を身につける。	2 前	120	4	○
○		材料学		2 前	30	1	○
○		表現技法演習	様々な設定下における実践的な課題演習を通じて、コンセプトワークからフィニッシュまでの制作プロセスについて学び、企業活動において広告制作が持つ意味について理解を深める。ページレイアウトソフト InDesign のスキル習得も目指す。	2 前	60	2	○
○		プレゼンテーション	自立した職業人を目指したビジネススキルと自己プレゼンテーションする力の向上を目指し、履歴書やエントリーシート、ポートフォリオを制作する。また、企画・編集・デザイン・印刷はもちろん、企業におけるプレゼンテーションや資料・文書作成など幅広い分野において必要なディレクション DTP の知識を学習し、Adobe Illustrator、Photoshop の各種アプリケーションソフトの応用スキルを習得、各種就職活動ツール制作に役立てる。	2 前	120	4	○
○		応用技術演習Ⅰ	印刷物制作のワークフローを理解し、Adobe Illustrator、Photoshop、InDesign の各種アプリケーションソフトを使用して、広告や雑誌媒体等の入稿用データの制作スキルを習得する。またアイデアを形にする際、表現の幅を広げるテクニックを身につける。	2 前	120	4	○
○	○	応用技術演習Ⅱ	デザイン制作における様々な表現手法を学ぶとともに、シルクスクリーンの印刷技法、雑誌編集における図説イラストやレイアウトデザイン制作、Web デザインにおける HTML の理解や Dreamweaver を使用したコンテンツ制作、文具の企画・デザインイメージボード制作、広告媒体制作における表現の監修等、選択制により各分野で専門的に学ぶ。	2 前	120	4	○
○		前期課題制作	夏期休業中に複数の課題制作を行い、必要な資料を収集する能力や、多様な視点から発想を広げて様々なアイデアを出すトレーニングを行うとともに、卒業制作のテーマに基づいて研究を深めてアイデアを形にする。	2 前	30	1	○
○		コンペ課題制作	各担当講師の指導の下、応募するコンペを設定して積極的に出品することにより、オリジナルな表現を追及すると同時に、就職活動用のポートフォリオの充実を図る。	2 前	30	1	○
○		卒業制作	在学中に学んだ専門知識や技術を十分に活かして、自らテーマ設定し、定められた期日までに集中的に制作を行い、学内審査及び外部審査員による賞選考会を実施して、その成果を問う。	2 後	450	15	○

合計	27 科目	2400 単位時間 (80 単位)
----	-------	--------------------